

楽器博物館等来場者へのアンケート調査結果

創造都市・文化振興課

1. 目的

利用者がアクトシティ浜松 D ゾーンを訪れる際の動線と、アクトシティ浜松内「動く歩道」の利用状況との関連をアンケート調査することにより、「動く歩道」の必要性の検討材料とする。

2. 調査方法

- (1) 浜松市楽器博物館に来場した方に対して、アンケート調査を実施した。
- (2) 主催者育成セミナー受講生企画コンサート（会場：音楽工房ホール）に来場した方に対して、アンケート調査を実施した。

3. 調査期間

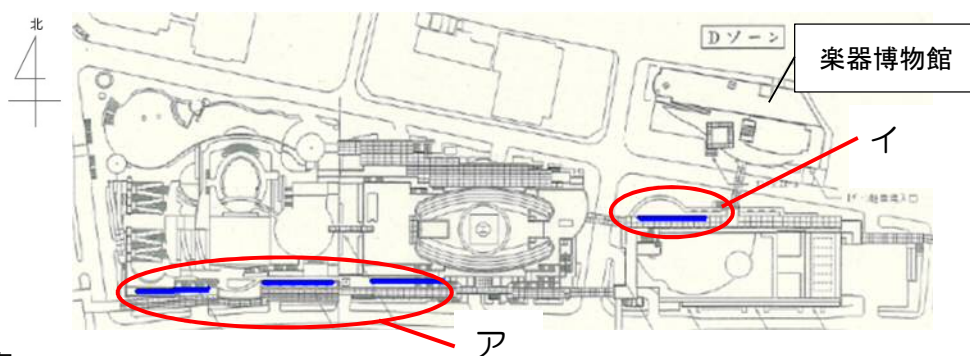
- (1) 第1次：令和3年1月18日（月）～令和3年3月21日（日）
第2次：令和3年4月14日（水）～令和3年5月23日（日）
第3次：令和3年6月22日（火）～令和3年8月29日（日）
第4次：令和3年10月16日（土）～令和3年12月5日（日）
- (2) 令和3年2月20日（土）

4. 回収状況

- (1) 回収数：165 票（第1次：46 票、第2次：28 票、第3次：73 票、第4次：18 票）
- (2) 回収数：95 票
※(1)と(2)の総数…260 票

5. アンケート結果について（サマリー）

1階からの来場者は158人（約60.8%）、2階からの来場者は93人（約35.8%）であった。また、動く歩道イ（下図参照）を利用した人は44人（約16.9%）であった。その内、浜松駅方面から来訪し、動く歩道アとイ両方を利用した人は24人、動く歩道イのみを利用した人は20人（内、アクトシティ浜松地下駐車場を利用した人は7人）であった。



6. 考察

アクトシティ浜松 D ゾーンへの動線として「動く歩道」を必要としている人は、①浜松駅方面から来訪し動く歩道ア、イの両方を利用した人、②アクトシティ浜松地下駐車場に車を停めて動く歩道イのみを利用した人であると考えられる。（②以外で浜松駅方面からの動線の中でアは利用せずにイのみを利用した人は、移動距離が長いアの区間で利用していないことから、「動く歩道」を必要としているとまでは言えないと整理する。）

以上のことから、①と②の総数（＝「動く歩道」必要としている人の総数）は31人（約11.9%）に留まっていることが分かり、アクトシティ浜松 D ゾーンを訪れる人の約9割は、「動く歩道」を必要としないと推察する。